政治的統一戦線へ！　　－無産政党合同論の根拠－　　 ※2020.2.10レジメ補強

1927年執筆。12月「労農」創刊号に掲載

１　われわれの政治的闘争の対象はブルジョアの政権である(p215-218)

　＜敵に対する理解－対象の正確な把握＞

○山川…帝国主義的ブルジョアの政治権力

○福本イスト(共産党)…「絶対主義的または専制主義(＝天皇制の比重)」

　－註1参照

　・革命階級とその同盟者に対する理解の相違→戦略と戦術の相違

　・「奇妙な選挙政策」…社民党と日農党排撃し、革新党と共同戦線。

※急進ブルジョアを同盟者に、労働者と農民勢力を敵勢力に計上。日労党のみは是認。

※廃藩置県以後、1878年（明治11年）に府県会が設置。1890年（明治23年）設立された　帝国議会よりも先に設置された。1925年には衆議院選挙と同じ条件(納税3円以上)の普　通選挙が導入。

☆時代背景の再確認 －1927年(昭和2年)頃

　①革新系政治団体

　　　◎日本共産党（1921/22-1924）→日本共産党（1926再建-1929/1935）

　　　◎農民労働党（1925）→労働農民党（1926-1928）「すべての無産政党合同提唱」

　　　◎日本農民党（1926-1928）／◎社会民衆党（1926-1931）／◎日本労農党（1926-1928）

 ※労働農民党は、1928年総選挙後の弾圧で解体。社会大衆党に参加(中間派・右派)、　　労農無産団体協議会を経て1936年日本無産党に参加(左派)、日本共産党に参加する　　者と四分五裂。戦後はその多くが日本社会党を結成、社会党左派と呼ばれるグループ　　を形成(加藤勘十、鈴木茂三郎ら)。1937年人民戦線事件(山川･向坂ら労農派逮捕)

　※戦後民社党の初代党首･西尾末広は、初めに「1928年社会民衆党から立候補し当選、1930　　年代には社会大衆党に参加、国粋主義に接近…」(2019.5.28道新夕･論壇･中島岳志)

 ②ブルジョア政党…主な流れ。1881年国会開設の勅諭。1890年に国会（議会）開設、　　　欽定憲法を定めることなどを表明。保守二大政党は1940年に大政翼賛会に合流

　　◎(自由党1881-84板垣退助)系…1890-98立憲自由党／1900-40立憲政友会。

　　　　　　　　　　　　　　　傍流的に革新倶楽部(1922-25)／革新党(1927.6-1932.7)

 ◎(改進党1882-96大隈重信)系…進歩党1896-98／憲政本党1898-1910／立憲国民党　　　　　　　　1910-22／立憲同志会1913-16／憲政会1916-27／立憲民政党1927.6-1940

２　ブルジョアの政権はいかにして確立せられたか？(p219-224)

・革命の主役を演じた下層武士は、過去の階級で、もはや経済上の基礎を持たなかったが　ために、新興ブルジョアの経済的基礎の上に立ち、その階級的利害を代表することが唯　一の活路であった。→過渡的中間的な政府＝藩閥政府が出現した。(21.9p)

・<明治維新＝ブルジョア革命>。完成したものではなくて、その発端であった。その後の50　年の歳月が必要であった。(220p)

・「新興ブルジョアの階級的利害は、この半専制政府によって代表せられ、その保護政策　の翼の下で…急速に成長した。『藩閥』はもとより､それ自身の固有ななんらの経済的　基礎をも有しない」(220p)

・<ブルジョアジーによる専制主義的残存勢力（官僚軍閥）の同化>の条件221p

　①資本主義の急速異常な発展によってブルジョアが階級的に成熟し強大となったこと。

　②国家資本と民間資本との融合(大財閥の侵入)

　③農業･地主そのものも資本家化。対立した政治勢力の基礎として重要を失った。

　④帝国主義的性質を帯びた資本主義・独占資本の支配が拡大･強固し反動化＝専制主義　　との同化を容易ならしめた。

・専制主義的残存勢力と､反動化したブルジョアジーとの「抱合」(かつての山川説)

 ※宗派主義的分裂主義者(共産党)は「わが国を政治的に支配しているものは、この専制主義的残存物－絶対専制主義－であって、ブルジョアジーはこの勢力と「抱合」し、支持されている、という見解。(彼らの理解力の限界)222p

・ブルジョアの政権は、いつ確立せられたか

　＝政党内閣制が事実上確立した時期。223p

　この時、プロレタリアは初めて直接にこれに対峙した勢力として登場

・われわれの政治的闘争の対象は、専制主義的残存勢力を同化して強大となったところの、帝国主義的･反動的･ブルジョアジーの政権である。224p

☆政党内閣制…1881(明治14)年国会開設の勅諭。1890年に国会（議会）開設･大日本帝国　　　　　　　憲法施行。1885年（明治18年）太政官制を廃止して内閣制度が創設。伊　　　　　　　藤博文が初代内閣総理大臣（首相）に。

３　それはいま、どのような段階にあるか？(p224-231)

・独占的金融資本に率いられたブルジョアジーは、いまやそのうちに同化できるいっさいの勢力を同化し、同盟を結ぶことの出来るいっさいの要素と緊密な同盟を結び、…資本主義の新たな発展段階に応じた強大な勢力にまで結成しつつある。224-25p

　①貴族院･枢密院のような諸制度は、…そのままブルジョア機構の一部を構成する要素　　に変じている(天皇制も含めて－専制主義の遺制)。－225p

 ②地主階級のブルジョアへの隷属－農業がその重要性を失い／地主のブルジョア化(少　　なくとも半身は)／農村における階級対立の増大(農民の貧窮化・小作農民の半農奴的　　･半プロレタリア的性質)→地主階級は自衛のためにブルジョアジーと同盟。-226-27p

　　※かつて(立憲)政友会は地主党で、憲政会は都市商工階級の政党と見なされていたが、　　　こんにちはこの分類の意義を失っている。－227p

　③小ブルジョア上層の大ブルジョア政治勢力への隷属･融解＝独自勢力としての意義の　　減少。専制主義の残存勢力と対立していた間は、急進的勢力としてブルジョアの先鋒　　たる役割。中和され､急速に同化されている。－228p

 ※(立憲)国民党が凋落し、後身たる革新倶楽部が政友会のうちに解消、わずかな小砕　　　片が革新党として無力な惰性的存在を保っている。－228p

　④普通選挙の実施(1925年)…専制的残存勢力へのブルジョアジーの決定的な勝利を意　　味。無産階級の政治的台頭を意味する選挙権の拡張は、他方においては、反動的･帝　　国主義的政治勢力の結成が急速に進行する有力な作用の一つとなっている。－229p

・(現在の段階は)明治維新によって開始せられた封建的勢力からブルジョアジーへの政権　の推移を完了し、ブルジョアジーの政治的支配を確立するに至ったこと。

　(そしてもっとも著しい特質は)かつては多かれ少なかれ対立していたところの反動的な　性質を帯びた諸要素が、独占的金融資本の勢力を中心として、強大な反動的･帝国主義　的政治勢力にまで､急速に結成しつつあることである。－230p

・ブルジョアジーの根本戦略は、プロレタリアその同盟者としての農民を完全に孤立させ　ること。労働者と農民との陣営内では、その戦線を分断することによって、左翼的分子　を完全に孤立させること(分裂主義は、このブルジョアジーの戦略に策応する) －231p

４　プロレタリアの一般戦略と無産政党の性質および任務(p231-241)

(1)一般戦略

・ブルジョア政権が確立せず、専制主義と対立している状態…ブル＋小ブルと共同戦線で　「ブルジョア民主主義の闘争を支持し、その政権の確立を促進すること」

・しかしブルジョア政権が完全に確立した状態…未完成のうちに遺棄するブルジョア民主　主義要求を取り上げて、これを反動化していくブルジョアジーの政治的支配に対するプ　ロレタリアとその他被抑圧民の民主主義的要求に変じ、この闘争の展開によって、それ　につづいて展開される決定的な闘争における決定的の勝利によって資本主義から新しい　社会秩序に推移する根本条件を確立することである。231p

(プロレタリア前衛の根本戦略)－232p

・いっさいの階級と社会層とを動員して、強大な反ブルジョア戦線を形成し、有力な反ブルジョア政治勢力を結成することにある。

(同盟者としての貧農－反プロレタリアたる小作農民)

(小ブルジョア下層－小自作農民その他の勤労大衆)は決定的闘争には計上できない。-232p

・まず共同の闘争に動員し、プロレタリアの指導の正しいことを実証し、決定的闘争の瞬間にあたって、その反社会主義的性質を「中和」「中立」し、社会主義を「支持」する力となる(する)－

　これを決定するのは「形勢のいかんと前衛の戦術のいかんである」ﾑﾑ!?　－233p

・この社会層は、二つの対立した勢力の争奪戦の対象となる。－233p末

・労働者と半プロレタリア農民の「意識のおくれたれた層」も、この社会層ときわめて似寄った立場にある。－234p

(現在の陣形)

・ブルジョアジーの影響力は、この層を目がけて突進する。これらの要素を失うことは、　プロレタリアにとっては、…重要な一角を崩されることを意味している。

・前衛的な分子と一般大衆との間に､緊密な結合のない現在の陣形は、…この危険にさら　されている。

(2)具体的な任務(共同戦線の党)　－234p

・いっさいの要素を、反動的・帝国主義的政治勢力にたいする反対勢力として（革命的プ　ロレタリアの社会主義的勢力としてではなく）、反ブルジョア政治勢力に結成すること　にある。

・反ブルジョア共同戦線の特殊な一形態

・(それは)プロレタリアの歴史的任務の上から見た無産政党は､共同戦線の党である。

・この闘争は、社会主義の闘争ではなくて、民主主義獲得の闘争である。234-235p

 ※註5…違い!　(共産党)「絶対専制主義に対するブルジョア民主主義獲得」の運動

　(われわれは)帝国主義的ブルジョアジーの政権に対して…民主主義を要求する闘争

 (共同戦線の党が無産階級党であるという意味は)

　①この党の任務は､著しく限定せられている。歴史的任務の一つの段階。致命的に重要　な段階。－235p

　　次の政治闘争ににまて発展するもの。労働者と農民と小ブルジョア下層の利害を代表　する政権の実現をもって、その最大の限度とするものである。－236p

 ②構成する内容が必ずしも純一ではない。限定せられた闘争目的の一致を条件とする。

　　共同戦線の特殊な一形態だということができる。

　　※「長崎を志すＡと、大阪を志すＢとが、大阪への到着を限定せられた共通の目標と　　　して､共同戦線を形成する」

　　※(共産党は)この共同戦線党を､前衛党ででもあるかのごとく錯覚し、指導している。

(3)前衛分子の指導的な任務は－239p

・かかる歴史的意義をもつ共同戦線党の任務と闘争の発展段階に対する明確な理解と、限　界に対する明確な認識に基づく指導

・その指導は、精神的な影響力であって、機械的な支配であってはならない。

・前衛分子は、その正しい見解と正しい戦術とを大衆の前にたえず実証し、大衆を自らの　体験によって説得することにより、もっとも広大な大衆を、その影響力のもとに獲得し　なければならない。－240p

　※共同戦線党に対する機械的支配、左翼政党、準前衛党、極左政党に変質させる過ち。 －240-241p

５　無産政党の対立とその性質(p241-256)

・単一な共同戦線としての無産政党は､今日はなお確立されておらぬ。

(1)四つの対立した全国的(無産)政党と綱領－242p参照

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　①労働農民党　②日本労農党 |  | ※①②は、三項を除き(但し同主旨)、一、二項はまったく同文 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 　③社会民衆党 |  | ※①②と比べて婉曲な表現｡誇張するほどの相異でない。 |

　④日本農民党　※p251以降に論述

・(前者の三党は)ある人々の誇張するがごとき差異ではない(誇張する人々＝宗派的分裂　主義者、意識的右翼指導者) －p244

・少なくとも－政治闘争の現在の発展段階において､反動的・帝国主義的政治勢力に対抗　する反ブルジョア的共同戦線戦の一要素となるためには、さしつかえない差異 －p245

・この対立は(指導者たちの意識の上には存しているにもせよ)おのおのの党の全性質の上　に固定し、おのおのの党の現実によって定形づけられてはおらぬ　－p246

(2)宗派的極左主義者の規定による三党の社会的階級的構成 － p246-251

①労働農民党…「マルクス主義政治意識にまで昂揚せられた」党

　・構成的要素は､主として組合労働者(日本労働組合評議会とその影響下の)と組合農民　　である(すべて日本農民組合)。若干の小ブルジョア下層分子とインテリゲンティア

②日本労農党…「組合主義的政党」と刻印された党

　・構成的要素は、第一に組合労働者(労農総連合に属する)と組合農民(全日本農民組合)

 労農党と同じく、若干の小ブルジョア下層分子とインテリゲンティア

③社会民衆党…「ファシスト党」と規定された党

　・構成的要素…工場労働者（主として労働総同盟所属）。農村要素をほとんど持たない。　　一つの特色は小ブルジョアのやや上層に属する要素(専門技術家団体･工人会の支持)

○三つの政党の構成要素は「組織せられたプロレタリア、ないしは組織せられたプロレタリアと農民とが圧倒的な多数を占めているという一点において、共通の社会的構成を備えている。（ただ異なるところは、プロレタリアに対する農民の割合が、マルクス主義党！においてもっとも高く、組合主義党がこれにつぎ、ファシスト党においてもっとも少ないことである）」－p248

○(三つの党に所属する労働者農民の)意識の発達程度の相異は､社会層を異にするという根拠に基づくものではなくて、主として、過去における組合運動の訓練から生じた相異である。－p249

○(三つの党は)①社会的階級構成はほぼ同一で、②党の影響力の範囲も「組合の影響範囲以外には伸びていない」、③政党の対立関係も「組合運動の対立関係をそのままに複生しているものである。」－p249

◎参考(再)－党と労働組合・農民組合の当時の情勢認識

　①革新系政治団体

　　　◎日本共産党（1921/22-1924）→日本共産党（1926再建-1929/1935）

　　　◎農民労働党（1925）→労働農民党（1926-1928）

　　　◎日本農民党（1926-1928）／◎社会民衆党（1926-1931）／◎日本労農党（1926-1928）

　②労働組合運動

　・友愛会…1912年結成。1919年には大日本労働総同盟友愛会に(左翼化)、1921年には　　日本労働総同盟に改称。1925年に総同盟は二つに分裂。

 ※日本労働組合評議会を結成（第1次分裂）。1926年日本労働組合同盟結成（第2次　　　分裂）、1929年労働組合全国同盟結成（第3次分裂）

 　※編注5－日本労働組合評議会…1927.5での方針転換(前衛党と労働組合の任務を　　　　　　　　混同、福本イズムに傾斜　－p210編注20)

　　※労農総連合…1927.1月　中間派労働組合統合して結成(総同盟内反対派と中間派が)

　③日本農民組合…1922.4創立された最大、最強の小作人組合。第一次無産政党結党運動　　の時から諸団体のかなめ的存在であった(労働農民党系)。

 ※全日本農民組合 …日農第二次分裂によって結成された組合(日本労農党系)

　　※日本農民組合同盟…日農から分裂(日本農民党系)　※分裂の経緯詳細は不明

○註7－労働農民党が、三政党のうちで、農民の党たる性質をもっとも多く備えている。

　※農村における得票に対する工業都市の得票の割合(社会民衆党がもっとも高い)→「宗派的分裂主義者の見解に従えば、わが国の現在においては、ファシズムの社会的根拠は、都市プロレタリアであって、マルクス主義(すなわち社会主義)の社会階級的基礎は､農民ということになる！」－p251

○(三つの党の)指導原理の対立は…綱領的なものでなく、社会階級的構成に照応したものでもなく、「遊離浮動した思想、浮き上がった指導精神として指導者の頭の中に存在するにすぎない段階にあるものである。」－p251

(3)日本農民党の場合 －p251

・日本農民党の反動的性質(具体的根拠)は、原則的にプロレタリアから隔離した、農民のみの党である。－p252

・農民の封建的・小ブルジョア的イデオロギー（綱領面に反映)

・構成要素…日本農民組合から分裂して日本農民組合同盟を組織した組合農民

・(しかし)その他の無産政党の労農大衆と共に、反ブルジョア的共同戦線に立つことが不　可能なものではない。

　　けれども他の無産政党と合同することは、その立党の第一原則－プロレタリアから隔　離した農民の党－を放棄することを意味する。

　　その他の三党と合同の協議に入ることは、より困難であると見なければならぬ。

(4)結論　－p254-255

　①現在対立している無産諸政党の構成要素は、…共同戦線党としての単一無産政党に包　摂せられるべき社会的要素であって、…いたずらに対立を呼び起こすことによって、わ　ずかに自己の存在を保っているがごとき政党は、…大衆が反動的・帝国主義的ブルジョ　アジーの支配に対抗して強大な反対政治勢力を結成しようとする欲求を抑制し、この過　程を阻害しているところの､宗派的朋党にほかならぬ。

　　※朋党…前近代の中国やその周辺地域において政治的な思想や利害を共通する官僚同　　　　　　士が結んだ党派集団のこと。

　②無産政党間の対立(除・日本農民党)は、「まだ固定せられておらぬ」。異なった対立　　する指導理論も「なお社会的階級的基礎と結びついておらず」、現在の対立が「なお　　定形のない、根底の薄弱な程度にあることを意味している。」

　③無産諸党派の間にある相異は(日本農民党を除いて)、その綱領の上に正式に現れてい　る範囲においては、単一共同戦線への合同を拒否する理由となり得ぬものである。

○これは現在、対立している無産諸政党の､単一共同戦線党への合同の必要と、その可能とを立証するものにほかならぬ。

　※「戦闘的統一戦術」という言葉は(後節)、かの宗派的分裂主義者が、彼らもまた戦線　　の統一を求めているかのような装いのもとに、実践上の分裂主義を遂行するための…　　贋造貨幣である。－p256

６　政治的統一戦線と左翼の任務(p256-284)

**☆【時代背景】コミンテルンの方針転換？**

①1921年12月のコミンテルン第3回大会「テーゼ」は、コミンテルンの主体性を維持し　た上で、改良主義的団体やサンデイカリスト組織との共同戦線を容認する一方で、コミ　ンテルンとしての主体性を維持すべきことを説いた。

　　※コミンテルン加入条件21か条では、第7条でコミンテルンに所属する党は『改良　　　主義や中央派のの政策と完全に､絶対的に絶縁』し、これを『党員のあいだに宣伝　　　する義務』があるとしていた。

②「第5回コミンテルン大会は1924年6月17日から7月8日にかけてモスクワで開催され、49か国から510名の代表が出席。レーニン死後初めての大会。

　　◎(コミンテルンテーゼから)「統一戦線はプロレタリアートにとっての煽動の方法　　であり、革命的動員の方法にすぎない」「反革命的社会民主主義との政治的同盟とし　　て、この戦術を説明する企ては、日和見主義であり、コミンテルンによって非難　　　される。」

　　(九大・島崎譲)「このテーゼは、明らかに、第四回大会の決議の放棄である。その　　第一の理由は、社会民主主義が統一戦線の一翼を担いうる条件を何ら考慮すること　　なしに、『社会ファシズム』的性格として規定していることである。」

③1927年、コミンテルン・テーゼ「日本問題に関する決議」(27年テーゼ)で、山川を　「清算主義的傾向」、福本を「正反対の一誤謬」と批判。二段階革命論提起

④1928年コミンテルン第6回大会では、ファシズムと社会民主主義のつながりを強調　　する「社会ファシズム論」が登場した。

　 ※この当時のコミンテルンの「協同戦線」論は、後に山川が批判する、日本の宗派的　　分裂主義者の「戦闘的統一戦術」論と同じ理解の範囲のもの。＝対立は継続した。

⑤そして1935年第7回大会で、反ファシズムを最優先課題として多様な勢力と協調し　　ようとする人民戦線戦術を採択(デミトロフ)。スペインやフランスで人民戦線政府が　　誕生。背景には1933年のヒトラー政権の樹立がある。

○統一戦線に対する態度が…無産者運動の陣営内において、(その）左翼的傾向と右翼的傾向とを分かつ中心的な題目になっている。－p256

・現在の形勢の特質…上向的な資本主義、気力の旺盛なブルジョアジー…は、ほとんどなんらの有力な抵抗にあうことなしに、搾取と隷属との増大に…

　労働者のと農民の戦線は、…薄弱、相対立し抗争、分割…

　かような欠陥ある陣形は、…革命的プロレタリアとその前衛そのものの成長と成熟とをはばんでいる。…かくのごとき形勢は、…戦線の統一をもって､プロレタリアの最大の任務たらしめている。 －p258

○現在の段階におけるプロレタリアの歴史的任務は、いっさいの反ブルジョア勢力をあますところなく動員して、これを強大な政治勢力に結成することである。

・統一戦線を真実に支持する者が(それゆえに)左翼であり、統一戦線を妨害する者が(それゆえに)右翼である。 左翼主義者の任務は、もっとも有効に、この右翼的傾向に打ち勝つことである。 p258-259

○わが国における小児病的極左主義者(この前衛隊が宗派的分裂主義者と名づけられる一群である)。…無産階級の合同に反対して、もっとも「執拗果敢な」闘争を続けている。

○(かれらは最近は)合同反対の主張を変更、もしくは緩和し、…「合同一般」に反対する者でないことを陳述し、釈明につとめている。　－p259-260

　この変更は＜自己疑惑と動揺＞　p260-261 **※コミンテルンの「協同戦線」論と同じ**

　①(社会民衆党＝ファシストと規定し、徹底排撃一点張りから)「上からの共同戦線のも　　ちかけ」も併用、

　②「日労党大衆を直接ただちに労農党そのものの下に獲得、奪還すべし」の見解動揺

○「合同一般」には賛成するが、あらゆる具体的な合同には反対する…宗派的分裂主義者としての本質

・「戦闘的統一戦術＝前記②」…指導者を蹴飛ばしての大衆の結合一点張り －p262

・上からの共同戦線の持ちかけ(ファシスト指導者に対する)

○(われわれの見解は社会民衆党の）指導者をファシストとは見ないで、社会民衆党を、いまだなお固定しておらぬ改良主義的右翼的傾向の党とみるところに存している。

○(分裂主義者の考えは)「彼ら(日労党)に執拗に、真実の政治闘争への協同戦線をもちかけ、彼らの正体を暴露し、幹部と大衆との矛盾を、その分離にまで発展せしめなければならないのみ。労農党と日労党との合同…はけだしかかる方向に求むべき。」とする。－p263

　※「戦闘的統一戦術」…徹頭徹尾、相手方の「正体を暴露」し、その大衆を指導者から引き離して…大衆を自分の党に獲得するという戦術」

　※同主旨の指摘を繰り返し展開…p264-

○彼らは無産政党を､前衛党そのものと認める見解から、前衛(または…宗派主義者の一群)が、機械的にこれを左右しうるところの党という見解に移ったにすぎぬ。　－p266

※この説明が　労働農民党と他の党との関係として展開　－p266-269

 ・彼らの理解…労働農民党は「前衛党ではないが、マルクス主義政治行動意識にまで昂　　揚せられた党」であり、組合主義的政治行動の党・日本労農党との「共同戦線」。

 →いかなる合同にも「絶対に反対す」という結論

　・合同「一般」への賛成であって、同時に合同「全般」への拒否に他ならぬ。－p269

　・労農･日労両党の合同は「組合主義的指導精神の勝利につながる」との理解　－p271

　・労農党は宗派的分裂主義者の指導の下に､同時に､共同戦線党という保護色を保存しな　ければならぬというジレンマ→「戦闘的統一戦術へ」「宗派主義と大衆との対立－この　軋轢と摩擦をまやかすために注入せられた機械油」　－p272-273

○宗派の主張－無産政党は､左翼(宗派)の指導精神の下に、すなわち左翼が自由に支配し　　うるようなものに－しておかねばならぬ。 －p276

 われわれの主張－革命的プロレタリアとその前衛は、無産政党のうちに、指導を確立し　なければならぬ。また指導を確立しうるものにまで成長し、成熟しなければならぬ。

・無産政党を真実の共同戦線党たらしめることと、プロレタリア前衛の成長と、成熟と、その指導の確立とは、…別々の過程ではなくて、一つの過程である。すなわち前衛は、真実に大衆的共同戦線党たる性質を持った単一政党を実現するための闘争により、この闘争の成功ある遂行によってのみ、成長し成熟するものである。　－p277

・宗派的分裂主義者は、無産政党を、たまたま異なった指導者に率いられた労働者と農民との大衆の四つの政党とは見ないで、そのうちの一政党(労農党)こそは「マルクス主義政治行動意識にまて昂揚せられた」党であって､その他の無産政党の対立物であると考えた。

　－p278

○マルクス「共産党宣言」より －p279

・「コミュニストは、全体として無産者と、どのような関係に立つか？コミュニストは､　その他の労働者階級政党の諸党派に対立した別個の党をなすものではない。」

　「彼らは(コミュニストは)彼ら自身のなんらの宗派的な原則を立て、プロレタリア運動　をこの型にはめようとするものではない…」

○レーニンの「なにをなすべきか」を読んだ宗派的分裂主義者は

・無産階級運動における前衛の特殊な比類のない性質と任務－この羽衣－を置き忘れた。

・労働者と農民との政治戦線の統一は…その最悪の極右翼的作用－をその陣営から徹底的に清算することによってのみ、初めて実現することができる。

 ☆羽化登仙…酒などに酔って快い気分になることのたとえ。天にも昇る心地。羽が生え　　仙人になって、天に昇る意から。▽「羽化」は羽が生えて、空を自由に翔かける仙人　　　になること。「登仙」は天に昇って仙人になる意。

　☆【註14】最近にいたって…解党主義的誤謬を清算しなければならぬ、なんらかの必　　要に迫られたもののごとくである。

 　…彼らは外部的勢力によって強制せられるまでは、無産政党の合同を主張しえず…

　【註15】コミンテルン第5回大会の「戦術に関するテーゼ」の一節を引用し、

 ☆前記【時代背景】レジメ5-6pを参照

　☆無産政党が共同戦線の党であるという場合には、もろもろの反ブルジョア的政治的要　　素が、一つの組織のうちに、恒久的に結合するのであって､共産党とその他の党との　　場合における、「一定継続期間」共同戦線－すなわち本来の「共同戦線」という言葉　　の意味とは、おのずから相違があることは、さきにも指摘したとおりである。それゆ　　えに、無産政党は、共同戦線の「特殊な」形態なのである。 －p283

**※山川は、時代･情勢も考慮して、控えめに言っているように思えるが…**

７　政治的統一戦線へ！(p284-294終) ※まとめの章

①(客観的情勢は)強大な反ブルジョア政治勢力の形勢を可能とし、大衆自らも、この方向に急速に動いている。－p284

②当面の、もっとも手近な手段が、分裂した無産階級の政治戦線の統一にある。

③無産諸政党の対立は、固定化しておらず、戦線統一の機会と可能とを大きくする。－p285　・しかし少数指導者の思想、指導精神の相異、指導者と党大衆との結合の状態、等々、　　が単一の共同戦線党に結合することを不可能、絶望的に困難ならしめている。

④それゆえ、われわれの､政治的統一戦線の実現せられる過程は、党と党との合同から、分裂主義的な指導者を排除した､大衆と大衆との直接の結合にいたるまでの、きわめて多くの段階を含んだ､弾力性のあるものでなければならぬ。－p285,5-8l

　・対立政党を「つぶして大衆をとる」ための共同戦線戦術－宗派的分裂主義者の…「戦　闘的統一戦術」は…対立の、固定化を促進するにすぎない。－p286

**☆その後の労農党などの推移…　p299参照**

三・一五事件（さん・いちごじけん）…1928年3月15日に発生した、非合法の無産政党の設立およびコミンテルン日本支部を目的として設立された日本共産党等の活動員数千名を検束、検挙された者が約300名、治安維持法に問われただちに市ヶ谷刑務所に収監された者が30名にのぼった事件。

・日本共産党（非合法政党の第二次共産党）、労働農民党、日本労働組合評議会、マルクス書房、東京市従業員組合本部、産業労働調査所、無産青年同盟本部、希望閣、他五十か所等の関係者が検束された。

○その後、日本共産党は労働者農民の政党の結成自体に反対し、無産政党運動から離れていく。

　労農派は、「共同戦線党」の形成をめざし無産大衆党を足場にふたたび無産政党運動の中で粘り強い努力を続けるのである。　－p299

○3.15事件後の労働農民党…

 労農党は結社禁止処分となったが、大山・細迫らは「新党組織準備会」を結成、労農党再建をめざす（そののち共産党系との対立を経て新労農党結党に至る）。

　その後、労働農民党の流れは、中間派・右派に合流して社会大衆党に参加する者、労農無産団体協議会を経て左派の日本無産党に参加する者、日本共産党に参加する者と四分五裂したが、戦後はその多くが日本社会党を結成、社会党左派と呼ばれるグループを形成するに至った。

○人民戦線事件… 1937年（昭和12年）12月15日および翌1938年（昭和13年）2月1日、コミンテルンの反ファシズム統一戦線の呼びかけに呼応して日本で人民戦線の結成を企てたとして労農派系の大学教授・学者グループが一斉検挙された事件である[1]。この事件を機に、日本共産党に限定されていた検挙が、非共産党のマルキスト・社会主義者一般に及ぶようになっていった。治安維持法第1条の目的遂行罪が拡大解釈されて適用された典型例として知られる。

・検挙者はいずれも治安維持法で起訴され、多く(第二次検挙で逮捕された教授グループは全員)は第2審で無罪が確定したが、加藤・鈴木・山川らは第2審でも有罪判決が下された。敗戦で治安維持法がなくなったため、加藤らは全員、1945年（昭和20年）に免訴になった。

　※1938年から45年9月までは､山川は人民戦線事件に連座して拘束生活を余儀なくされたためと、敗戦まで著作はとぎれている。

　1939年5月東京拘置所保釈出所(45年10月免訴に)。45年の敗戦まで沈黙を守った。「出所後の彼が何も書かないと思い決めたのは当然であった。…その沈黙が彼の思想を雄弁に語っている。」(全集14巻の編者あとがき)

**☆戦後「民主人民戦線」運動…**

 戦後の1946年（昭和21年）に、山川は三浦銕太郎や石橋湛山らと民主人民戦線をつくり、民主人民連盟委員長となるが病気で活動できず、社共両党の対立を解消できぬまま連盟は雲散霧消する。

◎「民主戦線のために」1946年1月「改造」2月号…全集14巻 　－p302-310 ※要約的に

○(戦前の統一戦線の意義)無産政党の樹立は、直接には普通選挙の実施によって促進せられたもので…本質的には帝国主義ブルジョアジーの増大する圧力と脅威に対する防衛、守勢的攻勢であった。

・政党はかろうじて組織されたばかりで、4つの全国政党と10いくつかの地方政党とに分かれて対立抗争を続けていた。無産階級の戦線は文字通り七花八裂の状態。

・無産政党の合同は数次にわたって実現されたが、それは必ずしも戦線の強化とはならなかった。…昭和7年(1932)無産政党の残留勢力の最終的な合同、形の上では統一戦線が実現されたが、…反動の嵐でね無産陣営はひとたまりもなくついえ去った。

○(戦後の形態)日本の民主化の一線にそう総司令部の司令が旧支配階級を武装解除し、財閥の解体によって支配階級の経済的基礎とともに階級的根拠をくつがえし、さらに官僚の追放によって国家機関をほとんど崩壊にひんせしめたこと､…政治革命の過程の進行であることには、少しの疑いもない。政権は既に旧支配階級の手から奪われている。

・かくて民主革命の現在の段階のきわめて特異な形勢は、実際においてすでに旧支配階級の手から剥奪された政権が、帰着すべき新勢力が現れていないために、宙ぶらりになっているという、きわめて特異な状態だということができる。

○(民主戦線の任務、構成要素)　往年の統一戦線運動は、いっさいの反ブルジョア的要素を単一の政党に組織しようとしたものであった。それは可能でもあり、また合理的でもあった。

・こんにちは形勢が一変した。民主化によって解放せられたものは、広汎な人民層である。

　進歩党が旧支配階級の残存勢力であることは明白。自由党は内部に、一個人として民主主義の友があるかもしれないが、全体としては進歩党と本質的な差異のない旧勢力の補足物である。

・日本社会党がどのような階級的性格を備えた党として発展するかは、もとより未知数であるが、(小市民的政治勢力に接近する可能性を示唆)。共産党との間にもうひとつのほんとの社会民主主義政党を入れうる空隙ができる。この空隙が全然新しい別の政党によって充たされるか、共産党の大衆政党化(変質)によって充たされるかは、未来の問題に属する。

・日本社会党は、立党の精神に忠実である限り、民主戦線の重要な構成要素。共産党は左のはしにある。

・民主戦線の形成はもはや単なる提唱の時期から、現実にそれを組織する段階に進まなければならぬ。　－p310

◎人民戦線の即時結成を提唱す …「民衆新聞」(46.1.10)。1.25野坂参三歓迎会にビラ配布

　※副題として、「民主主義の徹底を要求するすべての政党、労働組合、農民組合、文化　　団体、言論機関、および全国の同志に訴えて－」。趣旨は同じで短文1ページ

◎1月15日労農記者団との会見における山川氏談話の概要…上ビラの裏面に印刷－p313

【主な経緯】全集14巻の編者あとがきより

・46年1月　人民戦線の提唱。→3月世話人会開催。

・同年4月…山川発病(ガンと診断)。48年3月まで転地療養生活を送る。執筆活動継続

　※民主人民戦線運動は社共両党の非協力的態度で難航する(46.5月、社会党は救国民主　連名を対抗的に提唱する。)

・46年7月…民主人民連盟が設立。山川は欠席のまま議長に。※しかし社共両党が取り残した民主主義要素を結集する役割に限定。組織的運動の場を社共両党をはじめ既成運動体に譲って、無党派個人の結集体ということになっていく。 　　　(レジメ　完)